

# 薬品無使用の濁水処理装置

## 宍道湖湯谷川 排水施設に採用

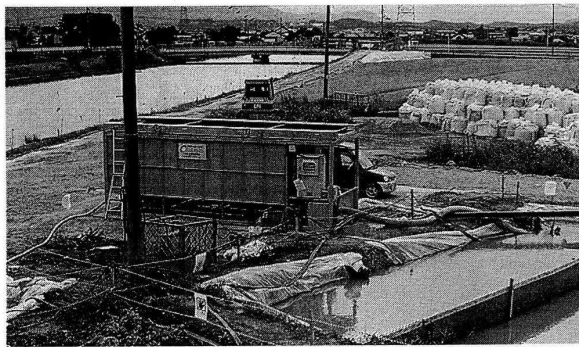
建設機械リース・販売のオーケーリース(出雲市古志町、森山次夫社長)は、薬品、凝集剤を一切使用しない濁水処理システム「ミズコシタロウ」を、宍道湖湯谷川排水施設築造工事(発注・国土交通省出雲河川事務所)に納入した。施工者の平井建設(安来市安来町、平井幸範社長)のVE提案が採用されたもので、環境に優しくコスト低減に貢献すると期待されている。国交省NETIS登録済みで、特許出願中。

同システムは、新技術の高分子マイクロフィルター(ポリエステルが主原料の特殊な繊維フィルター)による膜濾(ろ)過方式の処理装置。濁水処理工程は、沈砂池やノッチタンク等に集水した濁水を濾過槽に流入(重金属類や5μm以下の土粒子が極端に多い場合は電気凝集装置を使用し経由)すると、フィルターで濾過した上、溶存酸素量を

### オーケーリース(出雲)

## 平井建設 VE提案 環境保全、コスト減

宍道湖湯谷川排水施設築造工事に設置した、薬品無使用の濁水処理装置「ミズコシタロウ」



入樋門、流入水路、吐出樋門など本体の床掘工事で浸出する濁水処理に、最大処理能力40m<sup>3</sup>/時のMTP-20-40型を使用。通常の河川工事では沈砂池から上水だけをオーバーフローするが、宍道湖河口で濁りが滞留するため同装置を導入した。出雲河川では「濁度も低く環境保全に貢献している。企業の提案が良い結果につながった」(武部真実工務課長)と話す。県内工事での実績は2例目。

### 水質データ例(木屋川周防高潮対策工事)

処理前		処理後	
濁度 (mg/l)	502	茶色	2
色度	茶色	微臭	透明
臭度	微臭		無臭
COD (mg/l)	138		8.16
BOD (mg/l)	33		3
溶存酸素量 (mg/l)	4-5		7-8

用途多数で、全国では04年度から使用実績が急増し、現在40件を超えた。

高める超微細気泡発生装置でマイクロバブルを混合、集水管を経て放流する。処理能力は、濁度1000-2000mg/l程度を放流基準値以下の50mg/l以下で放流可能(水質データ参照)。フィルターの自動で行うため、後精算で

400時間をメーカー保証し、連続濾過処理を実現(1-2年間の連続使用で)。随時添加の必要がある薬品方式に比べランニングコスト・人件費が安く、汚泥の現場内処理も可能。ユニット設計で簡易な運搬、終了後自動運転で操作が簡単。脱色・濾過して冷却水として再利用する切断水循環脱色装置MTC-IIなども展開。下水道貯水槽の洗浄やダイオキシン除去など

現場見学会を開催  
山陰、広島地区のリース代理店はオーケーリース。同社では現場見学会を実施中で、11月14、17、20日(それぞれ午前10時、午後3時開始)の見学申込を受け付けている。申込書は同社HPより入手可能。  
※問い合わせは、オーケーリース 電話0853(24)3233 梶谷さん